

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)	◎	－	－
	○	家電量販店（経営者）	・加湿器、空気清浄機、巣籠り需要の調理家電などの販売は引き続き堅調に推移することが見込まれる。新型コロナウイルス感染拡大が鎮静化すれば、景気は一層良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する年末年始の感染対策が奏功し、2月の流水を中心とする冬季観光の需要が回復することを期待している。当地では2月からLCCが新規就航する予定となっており、既に宿泊助成などの施策も発表されていることから、新規路線就航を春～夏の観光需要拡大につなげていくことが期待される。
	○	通信会社（企画担当）	・例年であれば、新入学や就職に向けて、通信端末の販売が大きく動く時期であり、今年は通信料金の大幅値下げの効果も期待できることから、集客及び販売量の増加を期待している。
	○	住宅販売会社（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始される時期が近づいてくることになる。年明けからは治療薬などもどんどん開発されてくると期待していることから、先行きへの期待も込めて景気は少しずつ良くなる。
	□	商店街（代表者）	・Go To Travelキャンペーンなどの施策効果よりも、ワクチン接種の開始時期や治療薬の開発状況、当地の感染者数の動向によって景気が左右されることになる。当地における感染者数がゼロになる日が頻発するようにならない限り、景気回復は望めない。
	□	商店街（代表者）	・ワクチンの効果が現れるのは早くとも初夏以降になるとみており、まだまだ油断のできない状況が続く。この年末年始の我慢とワクチンの相乗効果での早期収束を願うばかりである。新型コロナウイルスの収束がみえない限り、経済対策を打っても効果はないと断言できる。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・依然として新型コロナウイルスの収束が見通せない状況下にあるため、今後も景気は変わらない。
	□	百貨店（売場主任）	・気温が上昇し始める来春までは、現在のような新型コロナウイルスの感染状況が続くとみられるため、今後も景気は変わらない。
	□	百貨店（販売促進担当）	・例年2月に開催されている大規模イベントの中止が決定したことから、景気が上向くのはまだ先になる。このままの厳しい状況がしばらく続く。
	□	百貨店（営業販促担当）	・例年インフルエンザが流行する期間は、新型コロナウイルスの影響が続くとみられるため、今後も景気は変わらない。
	□	スーパー（店長）	・各種イベントも中止が相次いでおり、急激なトレンドの回復は見込めない。ワクチンの状況によっては、景気回復が見込めるが、早くとも来春以降になるとみている。
	□	コンビニ（エリア担当）	・巣籠り需要と来客数減少の影響があるため、全体的には平均的に推移するとみられる。
	□	コンビニ（店長）	・20時以降の来客数が回復してこない。飲食店が通常営業できるようになるまで、現在の状況が続くことになる。
	□	乗用車販売店（経営者）	・新車の受注について、12月も引き続き前年の水準を上回っていることから、この傾向は当面続く。コロナ禍のなか、パーソナルな移動手段である乗用車の需要に底堅さが感じられる。
	□	乗用車販売店（経営者）	・よほどの変化がない限り、当面、今の状況は変わらない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが騒がれば騒がれるほど、マインド的に自粛の動きが強まってしまうことになる。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていた7～10月は景気も上向き傾向にあったことから、新型コロナウイルスが収束して初めて景気の底がみえてくる。今はまだ厳しい時期であるため、今後も厳しいまま変わらない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・期末ボーナスが前年よりも減っている客が多いため、今後も必要な商材しか購入しないとみられる。
	□	乗用車販売店（従業員）	・年末年始における新型コロナウイルスの感染状況次第である。1月の状況によっては景気が悪くなる恐れもある。

□	自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は上向き傾向になりにくい。ただ、店舗の努力によっては、売上を若干上向させることはできるとみている。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・冬期間は厳しい状況が続くと見込まれる。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンが再開され、地方自治体による観光支援事業が始動することになれば、景気の回復が見込める。ただ、今のところは景気がどうなるか判断できない状況にある。
□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されていることから、今後の景気回復に向けての明るい兆しは余りみられない。
□	旅行代理店（従業員）	・現在が最も需要のない状況であり、これ以上の悪化は考えられないことから、景気は変わらない。主力となる企業や組織の団体旅行の実施は、現状のような新型コロナウイルスの感染状況が続く限り、皆無となる。
□	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが延長されない限り、2～3か月後も今と変わらずほとんど予約のない状況が続く。
□	旅行代理店（従業員）	・現在の政策や医療体制などをみても、今後の景気が良くなると見込めるような状況にない。
□	タクシー運転手	・静かな正月が提唱される以上、売上の好転は期待できない。特に接待の伴う飲食店の自粛要請が解除されない限り、夜間の売上は期待できないため、今後も景気は厳しいまま変わらない。
□	観光名所（職員）	・Go To Travelキャンペーンでの札幌市の除外以降、来客数が一段と冷え込んでいる。全国的に新型コロナウイルスの感染者数が落ち着かない限り、観光業界は今後も右往左往する状況が続くことになる。収束に向けて、少しでも早いワクチンの接種開始が待たれる。
□	美容室（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染防止対策を続け、入店制限などを実施していくことから、景気が良くなるとは考えられない。ただ、当地は都市部から離れた地域であり、感染者が大幅に増えているわけではないことから、それなりの営業はできている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの問題が収束しない限り、世の中全体の景気は悪い方向に進む。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が止まらず、医療ひっ迫が報道されているため、景気は今よりもやや悪くなる。経済低迷による企業の倒産、困窮者の増加による自殺者の激増も懸念されることから、政府の対策に期待している。
▲	百貨店（役員）	・現在も十分厳しい状況ではあるが、新型コロナウイルスの第3波がどのように推移していくのかが分からないことから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がじわじわと出てきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（企画担当）	・この年末年始の帰省を始め、人の移動が今後も大きく制限されることが見込まれることから、景気はやや悪くなる。年末商戦についても例年ほどの売上増加は期待できない。
▲	スーパー（役員）	・新型コロナウイルスでいろいろ騒がれていることで、今後、中小零細企業の経営が回らなくなる可能性が高いことから、一時的かもしれないが、最悪の状況が見込まれる。年明けの感染者数が相当増えることになれば、食べることを多少我慢してでも巣籠りすることが考えられるため、社会全体での景気はますます悪くなる。景気が良いといわれる食品小売業にとっても、買上点数の減少が見込まれるため、大きな影響が生じ、前年を下回ることになる。
▲	スーパー（役員）	・中途社員の募集を行うと、新型コロナウイルスの影響が長引いているせいか、飲食業からの応募者が急増している。新型コロナウイルスの影響により、これから失業者が本格的に増加することが懸念される。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着く可能性もあるが、取引先が倒産する可能性が高いことから、売上の減少幅が大きくなることが懸念される。

▲	コンビニ（エリア担当）	・12月についてはクリスマスや年末年始の需要があったことで、景気が少し上向いているようにみえるが、2～3か月後になると、そうした需要も見込めなくなるため、景気はやや悪くなる。
▲	家電量販店（店員）	・自粛ムードが強まっていることから、今後の来客数の増加は期待できない。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響もあるが、例年、当業界では1～2月の市場規模が小さくなるため、その影響を心配している。
▲	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・景気が落ち込んでいるため、そろそろ当店にとっても悪い影響が出てくることを懸念している。特に漢方薬の原料が高騰し始めていることが気掛かりである。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・ある友人の店で、客の家族が新型コロナウイルス感染を疑われた。その店では、2週間の経過観察の期間中も、営業停止になることはなかったが、開店していても噂で客が来なくなり、食材ロスと人件費でかなりの痛手を被ったようである。地方の飲食店のなかには、例年並みの売上で頑張っている店もあるが、こういったことが続くと、今後の景気回復は望みにくい。また、飲食店の求人募集も増えてこないため、当分の間は回復の見込みもない。年末年始の営業を自粛するなどして、Go To Travelキャンペーン再開がされるまで、どうにかして生き延びたい。
▲	観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの感染抑止が見通せず、1月11日からのGo To Travelキャンペーンの再開も期待できない状況にあることから、利用者の減少はしばらく続くことになる。当施設では2月末まで営業時間を更に短縮して耐えることを決めた。
▲	美容室（経営者）	・成人式の予約が全てキャンセルとなったほか、新年会などの各種イベントも中止となっていることで影響を受けている。また、卒入学式も不透明な状況であり、当分の間は景気が上向くことはない。
▲	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスについて、北海道内での再度の感染拡大も懸念されることから、ワクチン接種が始まらない限り、現在と同様の状態が続く。
▲	住宅販売会社（経営者）	・雇用情勢の悪化により、客の所得が相対的に低下するとみられることから、分譲マンションの需要は低迷することになる。
×	商店街（代表者）	・周りの店舗の状況を見ると、特に飲食店が悲鳴を上げている。新型コロナウイルスについて、現在の状況が続くことになれば、回りまわって全体的に倒産、廃業が増えてくることになり、景気がますます落ち込むことになる。
×	商店街（代表者）	・今後については、オフシーズンとなるなか、新型コロナウイルスの影響が懸念されることから、景気は悪くなる。
×	商店街（代表者）	・1年で一番の繁忙期を失ったことから、廃業を決断した店舗が多くみられる。間もなく年末を迎えるが、年明けに大量の倒産、廃業が生じるとみられることから、年始の状況が心配される。Go To Travelキャンペーンの恩恵を受けている観光業界については、今後の見込みもなくなり、ひん死の状態である。北海道は他地域よりも経済の衰退が深刻であり、他地域とは別の支援体制を組まない限り、経済の復活は不可能である。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後、2～3か月間は新型コロナウイルス感染者数の減らない状況が続くとみられ、Go To Travelキャンペーンを再開したとしても、マインド的に観光客がすぐに増えることにはならない。効果が現れるまで時間が掛かることになるため、Go To Travelキャンペーン事業が始まった頃と比べると、キャンペーン再開の効果は限定的なものになるとみられ、今後の景気は厳しくなる。
×	スーパー（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大について、収束する兆しがみえないことから、今後の景気は悪くなる。
×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの先行きについて、見通しが立たないことから、今後の景気は悪くなる。ワクチンなどにより、新型コロナウイルスの影響がなくなるめどが立たない限り、景気が上向くことにはならない。

	×	衣料品専門店（店長）	・売上が厳しいだけではなく、キャッシュがひつ迫していることで、冬物の高単価商材の支払についても非常に厳しい状況にある。春の新作を投入する余裕もなく、コロナ禍を脱却できたとしても大きな売上回復は期待できない。
	×	高級レストラン（経営者）	・当地のような地方都市においても新型コロナウイルスの感染が広がっている。このままでは飲食業は終わると身をもって感じている。感染が収まらない限り、このまま潰れていく飲食店が多く出てくることになる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長期化していることから、今後の景気は悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大について、収束のめどが立たない。今後、どのような施策を行ったとしても、人出が増えると感染者が増加し、感染防止対策で往来自粛の要請が出されると人出が減るといったことを数か月周期で繰り返すことが見込まれる。新型コロナウイルスに対する特效薬が出てこない限り、今後も景気の悪い状況が続く。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまで、現在のような状態がずっと続くため、景気が良くなることはない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・先々の見通しが立たないことから、大幅に旅行需要が減退している。メディアや医師会を中心とした情報発信も正確性を欠き、科学的な情報ではなく、感情論で世論が動いている。今後2～3か月は旅行会社、オンライン・トラベル・エージェンツ、直予約含めて予約が全くなく、北海道は元より日本の観光産業にとって最も厳しい試練の期間となる。景気が上向くような要素がみじんもない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が収まるまで、今の状況は変わらないとみられることから、タクシーの利用が減少したままの状況が今後もしばらく続く。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対して有効なワクチンが開発され、全国民への接種が完了するまで、経済の回復は見込めない。景気が回復するまで、今後1年以上の期間を要することになる。
	×	タクシー運転手	・年末年始を迎えるが、新型コロナウイルス対策として外出自粛要請が行われたこともあり、今後の景気は悪くなる。初詣に出掛ける客も激減することになる。
	×	タクシー運転手	・当業種は全体的な景況感に左右されることから、新型コロナウイルスが収束しない限り、どうなるか分からない。とにかく景気が良くなる兆しは一向にみえず、厳しい状況に変わりはないことから、来年も厳しい年になる。
	×	タクシー運転手	・正月の外出自粛要請があり、Go To Travelキャンペーンも1月11日まで一時停止され、どうみん割も同じく休止となっていることから、今後の景気回復は見込めない。また、当地では大手企業の撤退が発表されたことから、経営の先行きが不透明であり、不安が募る。いち早いワクチンの接種開始が望まれる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの変異種による感染が確認されたことで、今後の状況がどんどん悪くなることが懸念される。
企業 動向 関連	◎	—	—
	○	輸送業（支店長）	・鋼材や建材について、今後の予定が入ってきていることから、景気はやや良くなる。
(北海道)	□	食料品製造業（従業員）	・受注が増えるような案件が特に見当たらないことから、今後も景気は変わらない。
	□	食料品製造業（従業員）	・前年に行った価格改定以降、販売量が減少しており、現時点で回復の見込みが立っていないことから、今後も景気は変わらない。
	□	家具製造業（経営者）	・今のところ、新型コロナウイルスのワクチンの効果などがはっきりしていないこともあり、今後については予想し難い状況にあるが、景気が現状から大きく変わることはない。
	□	建設業（経営者）	・今後については、冬の積雪寒冷期であることに加えて、年度末を控える時期であることから、工事の稼働は低調に推移する。新規案件については、土木工事で3次補正、翌債、ゼロ国債などの発注が始まることになるが、建築などの民間工事については、新型コロナウイルスの影響で例年よりも工事量が落ち込むことが見込まれる。

		建設業（役員）	・公共工事の来年度予算が今年度並みに確保される見通しであることから、一定量の公共土木工事の受注は期待できるが、新型コロナウイルスの影響で民間設備投資が抑制されることになり、民間工事の受注見通しが立たないことから、今後も景気は変わらない。
		コピーサービス業（従業員）	・現在と同様の状況がしばらく続くことになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況にもよるが、景気は大きく変わらずに推移する。
		金属製品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、業績が悪化している企業、個人事業主が多くなっている。個人所得もこれから減少する傾向が現れると見込まれるため、今後の景気は悪化する。
		建設業（従業員）	・慢性的な労働者不足に加えて、新型コロナウイルスの影響で工事の遅延がみられること、公共工事も含めた新規着工工事の建設単価が予算と折り合わない状況がみられることなどから、今後、建設不況となるおそれが出始めている。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束に向けた道筋や時期がはっきりと見通せないことに加えて、実体経済への負の影響も明らかになってきていることなどから、企業が将来に向けた投資に消極的になることが見込まれるため、この先の景況感はやや悪くなる。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス対策としての政策効果による下支えは期待できるものの、足元での新型コロナウイルスの感染再拡大に伴って、悪化基調にある雇用環境、所得状況、企業業況などが、道内景気を下押しすることになるため、3か月後の道内景気はやや悪くなる。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、国内及び世界中に行き渡らない限り、今後も景気は下向くことになる。それと併せて新しい生活様式や業務の進め方を作り上げていくことが必要であり、それらを国が主導して行わない限り、今後の景気回復は難しい。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、政府も静かな年末年始をと呼びかけたことから、経済活動の多くがストップした状態が続いている。新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるのは2月後半か3月と見込まれることから、それまで景気が回復することはない。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・新しい案件の話が出てこないことから、今後の景気はやや悪くなる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しないため、観光を中心とした景気対策に大幅な遅れが生じることになる。建設投資も民間を中心に慎重姿勢が強まることになり、今後の景気はやや悪くなる。
		×	—
		◎	—
雇用 関連  (北海道)		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年比マイナス8.2%、月間有効求人数は前年比マイナス15.5%となっており、いずれも減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で停滞している経済活動が回復することで、徐々に復調することが見込まれる。ただ、需要が低迷している一部の業種については、不安定な状態が継続しており、当面現在の水準のままで推移することになる。
		人材派遣会社（社員）	・サービス業が中心の北海道においては、業績回復の兆候がみえないことから、企業はどうしても慎重にならざるを得ない状況にある。また、景気回復に向けての企業の積極的な動きもみられないことから、しばらく景気は停滞することになる。
		職業安定所（職員）	・建設業及び運輸通信業の新規求人数が前年を上回ったが、新型コロナウイルスの影響からの持ち直し傾向がみられた飲食業の新規求人数に再び減少傾向がみられることから、今後も景気は変わらないまま推移する。
		職業安定所（職員）	・今よりも景気が悪くなるとは考えていないが、それほど良くなる要素もないため、今と変わらない水準で推移する。若干上向き可能性もあるが、大きな改善までは見込めない。

□	学校〔大学〕（就職担当）	・国の新型コロナウイルス対応のまずさや、企業への支援策が後手後手となっていることが目立っていることから、先行きへの不安感が強く、大学生の就活にも大きく影響している。現在も国の対応を不安視する企業が多いため、今後も景気は変わらない。
▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響は地方都市の小売店や飲食店にも及んでいる。経済活動へのダメージが計りしれない状況となっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加している傾向にあることから、先行きが見通せない状況にある。道内景気を押し上げるには、感染者数の激減が必要である。
▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・外出自粛や営業時間短縮によって、企業側の体力が徐々に奪われていることから、今後の景気はやや悪くなる。1年の中で一番の稼ぎ時である年末年始に、通常期よりも売上が減少した影響は大きく、精神的な部分も含めてダメージが大きいとみられる。
▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・当地で毎年実施されている冬の一大イベントについて、早々に中止が決まったこともあり、巣籠りライフがこのまま継続、深化していくことが見込まれる。それに伴い、購買行動もWebにシフトすることになれば、地元での消費活動が冷え込むことになる。
×	*	*